

読者プレゼント
 天狗中田の
 商品券1万円分
 抽選で10名様に
 プレゼント



遺族の気持ちに寄り添う

1級葬祭ディレクター 山岸 裕子 & 1級葬祭ディレクター 大和 康弘

人生の節目にまつわるお悩み解決 **Q&A** 知っておきたい お墓の基礎知識

セレモニー会館兼六

セレモニー会館 兼六西泉
 一般葬 家族葬 社葬
 〒921-8043
 金沢市西泉4丁目85番地
 ☎076-241-4949

セレモニー会館 兼六駅西
 一般葬 家族葬 社葬
 〒920-0024
 金沢市西念4丁目26番15号
 ☎076-234-7744

セレモニー会館 兼六城北
 一般葬 家族葬 社葬
 〒920-0842
 金沢市元町1丁目8番20号
 ☎076-252-9999

セレモニー会館 兼六笠舞
 一般葬 家族葬
 〒920-0965
 金沢市笠舞3丁目4番3号
 ☎076-224-8700

セレモニー会館 兼六扇が丘
 一般葬 家族葬
 〒921-8812
 野々市扇が丘3番19号
 ☎076-248-0005

株式会社 村井 年表

明治 30年 6月	初代村井儀平が村井葬儀社を創立
昭和 23年 6月	株式会社村井葬儀社の設立
45年 2月	代表取締役役に村井淳一就任
50年 8月	婚礼貸衣装部門 プライダル京洛 開業
50年 9月	互助会部門 兼六互助センター 開業
	株式会社 村井 に社名変更 冠婚部 葬祭部 互助部 総務部の組織改革
平成 7年 6月	総合葬祭式場セレモニー会館兼六 西泉 開業
10年 9月	総合葬祭式場セレモニー会館兼六 駅西 開業
12年 6月	兼六ライブサービス (民間患者輸送) 開業
12年 12月	総合葬祭式場セレモニー会館兼六 城北 開業
19年 12月	総合葬祭式場セレモニー会館兼六 扇が丘 開業
26年 1月	兼六ライブサービス (民間患者輸送) 廃止
26年 11月	総合葬祭式場セレモニー会館兼六 笠舞 開業
27年 12月	総合葬祭式場セレモニー会館兼六 西泉 改装

兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ
住所等変更をお知らせください
 お電話またはEメールにて受け付けております。
☎(076)242-0612
 Eメール: murairgp@po.incl.ne.jp

編集後記

今回のQ&Aは前回の皆様からのご意見の中で、お墓のことを教えてほしいとの要望から選びましたが、いかがだったでしょうか？私共もお葬儀の知識は豊富でも、お墓のことになると、自信のない部分もあるので、今回は竹村石材株式会社様の脇田様にご教授を賜り作成しました。脇田さん本当にありがとうございます。この場をお借りし感謝申し上げます。

読者プレゼント



同封のハガキにご意見・ご感想・質問など
 お気軽にお寄せください。
天狗中田の商品券 1万円分
 お寄せ頂いた中から抽選で
10名様に プレゼント
 応募締切 平成 28年 11月 30日(水)
 ※当選者には、こちらからお届けに伺います。

ご遺族からの言葉が励みに



大和 康弘 (やまと やすひろ) 1972年6月14日生
家族は、妻と長男(小1)、次男(年少)の3人家族



山岸 裕子 (やまぎし ゆうこ) 1967年1月5日生
好きな事は、愛犬の恋丸(ダックス)3才とお家でのんびりまったり過ごす事。一年を通してガーデニングも楽しみます。

ご遺族との打ち合せが大切だと実感する日々

私は「セレモニー会館兼六」で、主にお通夜や葬儀の司会を行ってあります。司会にはご遺族との打ち合せの他、火葬場への同行や葬儀後のサポートも含まれています。私が今の仕事に就いたのは、元々接客の仕事をしてきたからでした。あるとき「葬儀とは奥の深い接客のお仕事だ」と感じ、この世界で頑張りたいと思ったのです。葬儀は故人やご遺族にとって、一度きりの大事な儀式です。当然やり

大切なご家族を運び手続きの代行も行う

私の主な仕事は、故人を病院などからご自宅に運ぶ寝台車の運転と、葬祭式場から火葬場まで運ぶための霊柩車の運転です。霊柩車といえはひと昔前までは、金色の宮殿のような装飾がかった「宮型霊柩車」が主流でした。近年では時代の流れもあり、黒のパンなどによる落ち着いた「洋型霊柩車」が使われることも増えました。洋型霊柩車と比べ、宮型霊柩車を

ご遺族に寄り添い心のケアにも力を

ご遺族にとって、葬儀は一つの通過点に他なりません。故人との別れを惜しむ気持ちは続きます。だからこそ、区切りになるような葬儀のお手伝いがしたい、そう思っています。そのためにも、とにかくご遺族の想いに寄り添うこと。今どんなお気持ちなのか？どんな式にしたいとお望みなのか？ご遺族の立場や想いを汲み、葬儀のプロとしてお手伝いすることが私の務めだと思っております。葬儀を終えた後にご遺族から、「山岸さんがいたから安心できた」と言っていたら、本当によろしいです。「母の葬儀に続き、今回は父の葬儀の司会も、ぜひ山岸さんに

保有するには費用がかかるため、最近では宮型霊柩車を持たない葬儀社も増えていきます。でも当社では、ご遺族のご希望に添えるよう、両方のタイプを用意しています。私は他の2名の運転手と共に、お客様のご希望に合う霊柩車を準備して、大切に

もう一つお手伝いしているのが、さまざまな手続きの代行です。故人との別れに際し、ご遺族は深い悲しみにくれておられます。とはいえず、亡くなられた直後から、さまざまな手続きの期限が迫ってきます。たとえば、死亡を役所に知らせるための死亡届提出や、火葬場で火葬を行うために必要な書類を受け取る火葬許可申請書の提出など。悲しみの中で慣れない手続きを行うことは、ご遺族にとって大変なことです。そこで私たちが、代理での手続きが認められるものに関しては、葬儀のプロとしてスムーズな手続きをお手伝いしているのです。

プロとしての自覚を持ち丁寧な仕事をする

仕事をする上でもっとも心がけていることは、ご遺族の気持ちを汲みとり、少しでも楽な気持ちになっていただくことです。大切な方をお送

お願いしたいです」と言ってくれたこともあり、この上なくうれしい気持ちになりました。ご遺族から「頼んで良かった」と思っていたら、今後は葬儀後の心のケアにも、さらに力を入れたいと考えています。

重視しているのが「グリーンケア」と呼ばれるものです。グリーンとは英語で「深い悲しみ」を表す言葉。大切な方との別れに直面して悲しみに暮れるご遺族が立ち直れるよう、そばでサポートするのがグリーンケアです。一方的に励ますのではなく、寄り添う姿勢で、お手伝いができればと思っています。

葬儀のお手伝いは私一人では成り立ちません。同じようにお客様の気持ちを第一に考え、葬儀に関わっている同僚たちには感謝がたえません。これからもチームワークを活かして、お客様にご満足いただける葬儀のお手伝いをしてまいります。



りする葬儀は、辛い別れの場。お手伝いする私も、切ない気持ちがこみあげます。だからこそ、「プロとして何ができるのか？」を考え、ご遺族が不安を感じることなく過ごせるような時間を提供することが、自分の務めだと思っています。

たとえば霊柩車を運転するのは、気持ちを引き締まるひとときです。乗っているのは、ご遺族にとって大切な方。故人にとっては、最後の旅路です。安全運転するのはもちろんのこと、少しでもご遺体に振動が伝わらないよう、信号の変わり目や道路の状態に気をつけながら、心をこめて運転しています。

この仕事をしていてうれしいのは、やはり「ありがとう」と声をかけていただいたとき。お手伝いできて良かったと、しみじみ実感します。これからもプロとして、ご遺族の想いに寄り添い、丁寧に仕事してまいります。



人生の節目にまつわるお悩み解決

Q 墓石の名前に赤色で名前が刻まれてある時がありますが、どういう意味ですか？

A 生きていくうちにお墓を建てた時、建てた方の名前を入れるにあたり、亡くなった人と勘違いされないように区別するために赤色で書くようになりました。宗教的な意味はありません。

Q 四十九日法要の後、納骨する予定ですが、それまでにしておくことはありますか？

A 墓石に名前を入れておきましょう。仕上がりに約2週間かかるので、早めに石材店にお願いする必要があります。また、納骨日に合わせてお墓およびその周りも綺麗にしておきましょう。遠方で当日しか行けない場合は、有料ではありますが、石材店さんが掃除してくれるところもあります。

Q お墓は誰が開けるのですか？

A ご遺族の方で開けてもよろしいです。ただし、石が重く動かしにくい場合や、石を動かしたときに当たって墓石が破損する事も考えられるので石材店に頼む方が良いでしょう。その場合は約三千元〜五千円ほどかかります。かなり古いお墓の場合には、人の力では開けられないお墓もありますので、納骨前に確認しておきましょう。

Q お墓はまだありません。四十九日の日に納骨しないとダメですか？

A 四十九日というのが一つの目安ですが、必ず納骨しないといけないという決まりはありません。また、お墓を建てるとして急いでも約2か月はかかります。葬儀が終わってすぐ建て始めたとしてもギリギリです。なので、百ヶ日や1周年または新盆などに合わせ、焦らずにゆっくりと墓地の場所やお墓のデザインを選べると良いと思います。最近はいろいろなデザインもオーダー出来るそうです。